

## 生徒指導研修会（3回目）（令和4年8月25日）

8月25日（木）、今年度3回目の生徒指導研修会（職員対象）を開催しました。今回は上越少年サポートセンター長の上村順子様から、「少年の問題行動における立ち直り支援活動について」という題で、講話を実施していただきました。「十年一昔」という言葉がありますが、今は3年で生徒の様子・気質が変わっているように感じられます。特性のある子どもへの理解もずいぶんと進みましたが、まだまだ学ばなければいけないことが多いです。当日は上村様が出会った少年・少女の事案から、生徒理解のヒントを学ぶことができました。「言語化するのが難しい子どもには円チャートが有効である」、「欲求不満の具現化として①言語化、②行動化（鬱積した感情の盲目的な発散）、③身体化（自己主張できない人は、自らを責める）、があり、言語化が一番良いが、聴いてくれる人がいないといけない」等、大変参考になる講話でした。また、時代が変化する中でも子どもに対する接し方で変わらない部分、特に親子関係の在り方について学ぶことができ、それは発達障害児に対する接し方も同じで、どちらも「愛情・承認欲求が満たされていないところがスタート」であるということでした。

これから2学期が始まりますが、われわれ教職員は、今回の研修を生かして生徒理解を進めてまいります。

